

平成23年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	ICT発展に向けた日ASEAN共同調査・研究事業		担当部局庁	情報通信国際戦略局 国際協力課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	国際協力課		課長 湯本 博信		
会計区分	一般会計		施策名	V-6 ICT分野における国際戦略の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第78号 総務省設置法第4条95号 「所掌事務に係る国際協力に関すること。」		関係する計 画、通知等	ODA大綱(平成4年6月30日閣議決定、平成15年8月29日改訂) 新成長戦略(平成22年6月 閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東南アジア諸国連合(ASEAN)は今後の市場成長が見込まれる地域であり、提案する調査・研究プロジェクトに参加することにより、先方のニーズに応じつつ日本の情報通信技術や知見を移転する。また、ASEANが提案する調査・研究プロジェクトに参加することにより、ASEANの情報通信分野における問題意識を探り出すとともに、ASEANとの連携関係を築き、我が国の情報通信技術産業のASEANへの展開の端緒を見出す。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	東南アジア諸国連合(ASEAN)の情報通信技術基金に資金を拠出し、ASEAN加盟国の情報通信環境の改善に資する調査研究、パイロットプロジェクト、セミナー等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	0	0	0		
		繰越し等	—	0	0	0		
		計	—	10	9	18	25	
	執行額	—	10	9				
	執行率(%)	—	100.0%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本施策は、国際機関への資金の拠出を通じて国際機関が行う調査研究、パイロットプロジェクト等を支援するものであり、定量的な指標を記載することは困難である。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	—		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠	—				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	政府開発援助アジア・太平洋電気通信共同体等拠出	18	25	共同調査・研究事業の件数を2件から3件に増加したことによる増額				
	計	18	25					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目 状 況 ・ 予 算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金 の 流 れ ・ 費 目 ・ 使 途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活 動 実 績 ・ 成 果 実 績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当該拠出金によって実施された実証実験及びワークショップに日本企業及び政府関係者が参加することによって、IP技術等の我が国が得意とする情報通信技術及び知見をASEAN諸国に知らしめることができた。また、本事業の実施により、ASEAN諸国の抱える諸課題の把握、解決方策の方向性が明らかとなり、日本のプレゼンスの向上、企業の国際展開の足がかりとなった。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	<p>事業目的に合致し、資金は適正に支出されており、活動計画に沿った使用がされている。 拠出金は、ASEAN事務局とやり取りを行い、使用状況を確認・把握。より良い成果が引き出されるよう、今後も継続してASEAN事務局との調整を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現 状 通 り			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
引き続き、ASEAN事務局と緊密に連携し、資金の使用状況の確認・把握に一層努める。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

総務省
9百万円

拠出金を拠出



A.東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局

9百万円

拠出金を活用し、ASEAN域内における我が国のリーダーシップの確保とICT産業の国際競争力の強化に資する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. ASEAN事務局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	拠出金を拠出	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	ASEAN事務局	拠出金を拠出	9	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					